

基本政策①「ちっぐべつにしごとをつくり、安心して働けるようにする」

関連数値目標

数値目標	平成26年 基準年	平成27年～元年 実績	令和元年 目標値	進捗率
企業誘致の 推進	—	2企業	1企業	200%

1【農業の振興】

農産物ブランド化の取組 特産品を用いた加工品の開発・販売

農産物ブランド化の取組の一つとして、特産品であるブロッコリー等を用いた加工品の開発・販売を実施した。

新たな緑シリーズとして、「ブロッコリーアイス」、「ちっぐべつ緑のソース」、また、「お米ローション」、「お米せんべい生地」を開発し、イベント等でPR・販売を行った。



3【人材育成・雇用対策】ワーキングホリデー事業道内外から5名の若者が働きながら移住体験



平成29年度に整備した移住体験住宅を活用し、町で暮らし働きながら町の魅力を知ってもらう「北海道ふるさとワーキングホリデー事業」を北海道と連携し実施した。これまでに道内外から5名の若者が述べ82日滞在している。

町の魅力や暮らしを働きながら体験することで、将来的な移住や地域の人材不足の解消に繋がることに期待ができる。

2【商工業の振興】商店街の活性化

○商業振興店舗等建設促進補助金

（産業課より、実績写真）

店舗改修や特産品開発実績について記載

○商工振興対策補助事業

地域振興に資する各種イベントやポイントカード事業を実施し商工振興が図られた（実績写真）

4【企業誘致の推進】



民間の障がい者グループホーム「心空」が開設（平成29年）、また、大手企業のDCMホームマック子会社であるホームマックニコット秩父別店がオープン（平成30年）し、町内における雇用の場を確保できた。

基本政策②「ちっぐべつに転入者、交流人口を増やし、転出者を減らす」

関連数値目標

数値目標	平成29年 実績	平成30年 実績	令和元年 実績	令和元年 目標値
社会増減	+36人	+12人	-11人	±0
年間入込客数 （交流人口）	538,848人	642,391人	623,468人	484,000人

1【移住定住促進】

平成29年は34年ぶりに人口が増となる



○民間賃貸住宅建設補助事業

移住定住者の受け皿となる民間賃貸住宅の建設を推進。これまでに6棟（36戸）建設。

○新婚世帯、子育て世帯、新規就業者に対する家賃助成

子育て世帯や新社会人の流入増及び流出抑制が図られた。

○新築住宅取得補助事業

これまで実施してきた住宅用地取得補助やリフォーム補助金等に加え、新築住宅取得補助を実施。



2【交流人口の増加】

子ども屋内遊戯場キッズスクエアちっぐる



平成29年4月、大型ネット遊具やチューブスライダーなどを楽しめる子ども屋内遊戯場をオープン。

旭川市や札幌市からの利用も多くこれまで25万人以上が来場。

温泉、道の駅の売り上げが増した。

屋外遊戯場キュービッコネクション



平成30年7月、「キッズスクエアちっぐる」の隣に日本最大級（高さ13m幅58m）のキュービッコネクションを有する屋外遊戯場をオープン。これまでに推計16万人以上が利用し、隣接するキャンプ場の利用者も大幅に増加した。

基本政策③「結婚・出産・子育てを安心してできるようにする」

関連数値目標

数値目標	平成26年 基準年	平成27～元年 実績	令和元年 目標値	進捗率
婚姻数 (5年平均 40歳未満)	8組	7.2組	8組	90.0%
出生数 (5年平均)	16.4人	14.4人	17人	84.7%

1【結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援】



赤ちゃんが生まれるまで

- 結婚祝い金交付事業
- 妊婦定期健診助成
- 交通費助成事業
- 妊婦さん訪問相談事業
- 不妊治療費助成事業等

子どもの健康を守る

- 産婦定期健診助成
- 交通費助成事業
- 赤ちゃん・産婦さん訪問・相談事業
- 母乳外来
- 乳幼児健診
- 育児相談サロン利用料助成
- 任意予防接種（全額助成）
- 乳幼児定期予防接種全額助成
- インフルエンザ予防接種全額助成（乳幼児・小・中・高）

2【子育て支援の充実】

子育て世代の経済的負担軽減

- 出産1年後祝金事業
- 新婚・子育て世帯引越し費用助成
- 新婚・子育て支援家賃助成
- 学校給食費助成等
- 保育料の軽減（国基準より5～7割助成）、同時入園等による第2子無料
- 子育て支援水道料金助成事業
- チャイルドシートの無料貸し出し
- 乳幼児等医療助成（高校生まで医療費無料）

3【教育環境の充実】

4【働きやすい環境づくり】

教育環境整備

- 小中学校に学習支援員配置
- 複式学級の解消（町費による教員採用）
- 外国語指導助手の配置

子育て環境の充実

- 認定こども園待機児童ゼロ
- 放課後子ども支援事業（ちっぷっ子ふれあいスクール）
- こども屋内遊戯場キッズスクエアちっくる
- 屋外遊戯場キュービックコネクション

基本政策④「地域と地域をつなぎ、安心な暮らしを守る」

1【経済・生活圏の確保】2【安心な暮らしの確保】
お年寄りが安心して暮らせるまちづくり

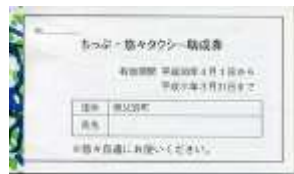


快適な暮らし

- 秩父別温泉入館料助成事業
- タクシー助成事業
- 宅配食事サービス事業
- 除雪サービス事業
- 屋根雪除雪費用助成事業
- 高齢者グループハウス「らいふ」
- 上下水道低額料金設定

安心な暮らし

- 緊急通報システム
- 秩父別町シルバー見守り協議会
- ちっぷQ救ボトル
- SOSネットワーク



健康で元氣な暮らし

- まるごと元氣運動教室
- ふれあい・いきいき広場
- 出張健康相談、健康教育
- 各種健診無料
- 人間ドック受診費用一部助成
- 65歳以上の方の肺炎球菌ワクチン、インフル予防接種一部助成

関連数値目標

数値目標	平成26年 基準年	令和元年 目標値	令和元年 実績	進捗率
住みよい町と 感じている人	53.5%	60.0%	64.4%	108%

※基準年、実績はまちづくりに関するアンケート調査結果による。
（平成26年、令和元年調査）

2【地域連携事業の推進】

北空知における広域連携の促進

○定住自立圏形成協定

中心市宣言を行った深川市と北空知圏域の四町が、人口定住のため必要な都市機能及び生活機能の確保・充実に向け、連携して取り組む事項について定めた。



○北空知定住自立圏共生ビジョン

平成30年度構想を策定し、全ての住民が住み慣れた地域で暮らし続けることができる圏域づくりを進め、さらに、圏域を構成する市町がお互いに協力・連携しながら、地域資源を活かした魅力あふれる地域づくりを目指す。